

## II 令和5年度事業実施状況

食品の安全・安心への関心が高まる中、更に、畜産経営の大規模化、豚熱及び口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生や海外からの家畜伝染病侵入の危険性が増大する等、畜産情勢が変化する中で、安全な畜産物の供給と畜産経営の安定を図るためには、家畜衛生対策を適切かつ円滑に推進することが重要である。

家畜保健衛生所では、家畜伝染病の発生予防と家畜疾病による損耗を防止するための予防衛生対策を講じるとともに、生産段階における家畜の飼養衛生管理基準遵守の徹底を推進するなど、状況の変化に的確に対応しながら各種事業を実施している。

### 1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号 以下「予防法」）の規定に基づき、家畜伝染病及び家畜伝染性疾病の発生とまん延を防止し、家畜飼養者をはじめ、獣医師、市町、関係団体等と連携し家畜防疫体制の強化を図る。

#### (1) 主な検査と対象家畜

予防法第5条の規定に基づく発生予防又は発生予察のため、主に以下の検査を実施した。

ア ヨーネ病

(ア) 搾乳の用に供し、又は供する目的で飼育している牛及びその同居牛

(イ) 繁殖の用に供し、又は供する目的で飼育している肉用雌牛

イ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

100羽以上鶏を飼養している農場のうち、家畜保健衛生所長が選定した農場で飼養されている鶏

ウ 腐蛆病

管内に飼育されている蜜蜂であって、家畜保健衛生所長が必要と認める蜜蜂

エ 牛のアカバネ病、ブルータング

未越夏でワクチンを接種していない牛

その他、公共牧場に放牧された乳用牛に対する定期的な衛生検査(臨床検査、血液検査、寄生虫検査、牛体消毒等)、養豚場の清浄度を確認・維持するための豚熱、オーエスキー病等の検査、監視伝染病の疑いのある家畜及び不明疾病に対する病性鑑定等を実施した。

(2) 主な検診・検査等の概要

事業名	区分	実績 (頭羽群数)	検査結果(頭羽群数)			備考
			陰性	疑陽性	陽性	
検診・検査	牛のブルセラ症	12	12	0	0	告示 12頭
	牛の結核	12	12	0	0	告示 12頭
	牛のヨーネ病	17,211	17,185	0	26	告示 9,189頭 告示外 8,022頭
	ピロプラズマ症	1,340	1,304	0	36	放牧予定牛 946頭 放牧牛 394頭
	EBL (牛伝染性リンパ腫)	6,062	4,682	0	1,380	抗体検査 5,445頭 遺伝子検査 617頭
	牛ウイルス性下痢(BVD)	14,177	13,911	0	266	抗体検査 5,097頭 遺伝子検査 9,080頭
	アカバネ病	108	108	0	0	告示 108頭
	ブルータング	36	36	0	0	告示 36頭
	牛伝染性疾病検査	159,358	159,358	0	0	延べ頭数
	牛海綿状脳症(採材業務)	444	444	0	0	告示 426頭 告示外 18頭
	馬伝染性貧血	1	1	0	0	告示外
	馬バラチフス	1	1	0	0	告示外
	馬伝染性疾病検査	6	6	0	0	馬インフルエンザ等
	豚熱	3,463	961	286	2,216	免疫付与状況確認検査
	オーエスキー病	609	609	0	0	抗体検査
	PRRS (豚繁殖・呼吸障害症候群)	1,597	744	0	853	抗体検査 1,464頭 遺伝子検査 112検体 遺伝子解析 21検体 ※遺伝子解析は検査結果数に含めず
	豚伝染性疾病検査	549,323	549,323	0	0	
	高病原性鳥インフルエンザ 低病原性鳥インフルエンザ	530	530	0	0	告示 430羽 告示外 100羽
	鶏伝染性疾病検査	5,048,163	5,048,163	0	0	鳥インフルエンザ、 ニューカッスル病等
	腐蛆病	1,066	1,066	0	0	告示 913群 告示外 153群
その他	着地検査	21	21	0	0	豚 2件

(3) 家畜伝染病予防法第5条に基づく検査

ア 乳用雌牛のヨーネ病検査

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

同居の肉用繁殖雌牛も同時に実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計	
検査戸数 (農場数)	11	58	399	26	4	498	
検査頭数	乳用牛	307	2,976	393	2,374	318	6,368
	肉用牛	12	207	6	385	0	610

【検査成績】 6,968頭陰性、8頭陽性

イ 肉用雌牛のヨーネ病検査 (酪農家の飼養牛を除く)

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	0	0	12	0	22	34
検査頭数	0	0	731	0	544	1,275

【検査成績】 全頭陰性

ウ 放牧予定牛のヨーネ病検査

※公共牧場に入牧予定の乳用育成牛を検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	23 (和牛5戸含)	53	6	14	2 (和牛1戸含)	98
検査頭数	141 (和牛41頭含)	440	79	230	41 (和牛2頭含)	931

【検査成績】 全頭陰性

エ 種畜 (種雄牛) のヨーネ病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	1	0	0	1	0	2
検査頭数	2	0	0	3	0	5

【検査成績】 全頭陰性

オ 死亡牛の牛海綿状脳症 (BSE) 検査 (法第5条に基づく検査)

管内市町及び県内・種類別の搬入状況

市町	乳用牛		肉用牛		総計
	ホルスタイン種	その他	黒毛和種	交雑種	
大田原市	32	0	6	0	38
那須塩原市	138	1	15	0	154
那須烏山市	10	0	10	0	20
那須町	32	0	21	0	53
那珂川町	6	0	3	1	10
管内合計	218	1	55	1	275
県内合計	303	1	120	2	426

【検査成績】 全頭陰性

カ アルボウイルス感染症サーベイランス

病名	戸数	頭数	6月		8月		10月		11月	
			<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦
アカバネ病検査 (抗体)	9	108	<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦
			23	4	25	2	26	1	27	0
ブルータンク検査 (遺伝子)	9	36	-	+	-	+	-	+	-	+
			3	0	3	0	3	0	27	0

※ 大田原市2戸、那須塩原市3戸、那須烏山市1戸、那須町2戸、那珂川町1戸で実施

キ 蜜蜂の腐蛆病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	5	9	3	2	3	22
検査群数	130	680	46	20	37	913

【検査成績】 全例陰性

ク 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

(ア) 定点モニタリング検査

毎月1回、管内の3農場において、6週齢以上の鶏10羽のウイルス分離検査と血清抗体検査を実施した（ウイルス分離検査は県中央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施）。

対象農場	検査内容	検査成績
3戸 (那須塩原市、那須烏山市、 那須町)	ウイルス分離 (気管スワブ、クロアカスワブ) 血清抗体検査	全例陰性

(イ) 強化モニタリング検査

4月から5月及び10月から3月にかけて、管内7農場の鶏各10羽について、各農場1回血清抗体検査を実施した。

対象農場	検査成績
7戸 (大田原市1戸、那須塩原市3戸 那須烏山市1戸、那珂川町2戸)	全例陰性

(4) 家畜伝染病予防法第6条に基づく予防接種

ア 放牧予定牛におけるワクチン接種

牧場での感染症予防を目的として、放牧予定牛を対象として、入牧前にワクチン接種を実施している。

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	合計
接種農場数 (実数)	23	53	6	14	2	98
接種農場数 (延数)	60	166	24	62	1	313
接種頭数 (実数)	175	761	95	263	40	1,334
接種頭数 (延数)	175	761	95	263	40	1,334

イ 豚熱ワクチン接種

豚熱の発生予防のため、管内養豚農場を対象として、離乳豚及び繁殖豚に継続的にワクチン接種を実施している。

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	合計
接種農場数 (実数)	5	13	5	15	5	43
接種農場数 (延数)	231	449	87	382	48	1,197
接種頭数 (実数)	140,380	117,248	57,643	257,227	4,979	577,477
接種頭数 (延数)	140,380	117,248	57,643	257,227	4,979	577,477

(5) 家畜伝染病予防法第51条に基づく検査

ア 牛のヨーネ病検査

牛のヨーネ病防疫対策要領に基づくカテゴリーⅡ農場において、清浄化推進のための検査を実施した。

対象農場戸数	検査検体数		検査成績
	抗体検査	リアルタイムPCR検査 (環境材料を含む)	
7戸 (大田原市1戸、那須塩原市3戸、 那須町3戸)	583	4,616	患畜18頭を摘発

清浄性が確認された農場：1戸(那須町1戸)

イ 牛伝染性リンパ腫

抗体検査及び遺伝子検査により農場及び公共牧場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
抗体検査	5,445	917	4,528
遺伝子検査	617	463	154

ウ 牛ウイルス性下痢 (BVD)

抗原・抗体検査及び遺伝子検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
中和抗体検査	398	237	161
ウイルス分離	484	28	456
遺伝子検査	484	30	454
抗原エライザ検査	3,786	1	3,785

(実頭数)

エ 豚熱 (CSF)

豚熱ワクチンの免疫付与状況確認のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	検査成績
39	3,450	+:2,202 ±:286 -:962

オ オーエスキー病

清浄化対策推進のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	野外抗体 陽性頭数	野外抗体 疑陽性頭数	野外抗体 陰性頭数
31	609	0	0	609

カ PRRS (豚繁殖・呼吸障害症候群)

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
37	1,464	804	660

キ ニューカッスル病

抗体検査結果をもとに適切なワクチン接種を指導した。

戸数(延)	羽数	抗体陽性羽数	抗体陰性羽数
31	309	258	51

ク 鶏マイコプラズマ病

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

病原体名	検査戸数(延)	検査羽数	陽性羽数	疑似羽数	陰性羽数
マイコプラズマ・ガリセプチカム	18	180	94	0	86
マイコプラズマ・シヒエ	18	180	105	0	75

ケ 施設園芸用蜜蜂の腐蛆病検査

イチゴハウスで受粉に利用される蜜蜂の検査を実施するとともに、飼養者に対し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査群数	検査成績
15戸 (那須烏山市1戸、那珂川町14戸)	88	全群陰性

(6) その他の検査

ア 放牧予定牛の検査 (※)

放牧場での伝染性疾病のまん延防止のため、放牧予定牛について各種検査を実施した。

病名	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
EBL(牛伝染性リンパ腫)	1,064	283	781
ピロプラズマ症	946	33	913
BVD (牛ウイルス性下痢)	1,252	1	1,251

※県内・県外予定牛両方

イ 放牧牛衛生検査

管内3か所の公共牧場において、定期的に放牧牛の衛生検査を行い、各種疾病の早期発見及び早期治療に努めた。

(7) 放牧状況

区分	大野放牧場 (大田原市)		那須町共同利用模範牧場 (那須塩原市)	
	乳用牛	肉用牛	乳用牛	
EBL対策	EBL陰性牧区	EBL陰性牧区	EBL陰性牧区	EBL陽性牧区
放牧期間	R5. 4. 13～ R5. 11. 6	R5. 5. 9～ R5. 11. 6	R5. 5. 1～ R5. 10. 31	R5. 4. 18～ R5. 11. 3
放牧頭数	26	22	213	41
衛生検査回数	8	7	6	
主な疾病	皮膚真菌症		皮膚真菌症、光線過敏症 乳頭腫、趾間腐爛	
備考			周年預託牛あり	

※八郎ヶ原放牧場 (休牧中)

(イ) 衛生検査検査成績

a ピロプラズマ症

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場	—	0/10	0/10	0/10	0/10	0/10	0/9
那須模範牧場	—	0/21	0/20	1/21	1/22	0/21	0/20

ウ 家畜伝染病予防法第52条に基づく報告徴求

(ア) 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの発生予防

管内の家きん100羽以上(だちょうは10羽以上)を飼養する農場から毎月1回、1か月の死亡羽数及び産卵率の報告を求めた。

(7) 病性鑑定

原因不明の疾病について、獣医師や飼養者からの依頼により、原因究明の検査及び防除のための衛生指導を実施した。

ア 市町別の病性鑑定件数及び頭羽数（総件数：延べ 193 件 総頭羽数：延べ 418 頭羽）

畜種	大田原市		那須塩原市		那須烏山市		那須町		那珂川町		計	
	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数 ***	頭羽数
乳用牛	2	6	41	76	2	8	19	26	3	9	67	125
肉用牛	11	22	63	115	4	17	29	68	9	10	116	232
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	1	15	1	14	1	1	0	0	0	0	3	30
緬山羊	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2
鶏	1	4	2	16	0	0	1	3	0	0	4	23
その他*	0	0	2	3	0	0	2	3	0	0	4	6
計	15	47	109	226	7	26	50	100	12	19	193	418

\*その他：牛、馬、豚、緬山羊、鶏以外の家畜、又は環境材料 等

\*\*計：複数畜種を検査した場合、別々に計上

イ 市町別の病性鑑定検査材料別の検体数

(総検体数：547 検体)

検査材料	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
糞便	13	94	26	43	7	183
死体及び生体	9	41	1	26	2	79
血液	30	66	16	39	13	164
その他*	19	76	14	17	5	131
計	71	277	57	125	27	557

\*その他：鼻腔拭い液、敷料、環境ふきとり等

【令和5年度の病性鑑定で診断された主な疾病】

下表に示すように、様々な疾病が確認されました。（下線は監視伝染病を示す）

畜種	症状	疾病名
牛	下痢症	牛ロタウイルス病、牛コロナウイルス病、クリプトスポリジウム症、牛コクシジウム症、牛トロウイルス病、消化管内線虫症 等
	呼吸器病	牛コロナウイルス病、牛RSウイルス病、牛パストツレラ症、牛マンヘミア症、牛マイコプラズマ病 等
	その他	牛サルモネラ症、牛ウイルス性下痢、悪性水腫、クロストリジウム属菌による突然死、腹膜炎、牛大腸菌症、ピロプラズマ病 等
豚	死亡数増加 急死等	<u>豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)</u> 、豚インフルエンザ、盲腸捻転
鶏	死亡数増加	管理失宜